平成 28 年度 佐賀大学 2 次試験前期日程 (数学問題) 理工・医・農・教育学部 平成 28 年 2 月 25 日

- 理工学部 1 2 3 4 数 I・II・III・A・B (120 分)
- 医学部 1 5 6 7 数 I・II・III・A・B (120 分)
- 農学部 1 (1)(2) 4 8 9 数 I·II·A·B (120分)
- 教育学部 1 (1)(2) 4 9 数 I · II · A · B (100 分)
- 1 0 とする.

$$a_1 = 1$$
, $a_2 = 2$, $a_{n+2} = (1-p)a_{n+1} + pa_n$ $(n = 1, 2, 3, \cdots)$

で定められる数列 $\{a_n\}$ に対して、次の間に答えよ.

- (1) $b_n = a_{n+1} a_n$ とおくとき、数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ.
- (2) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ.
- (3) 極限 $\lim_{n\to\infty} a_n$ を求めよ.
- **2** 次の問に答えよ.
 - (1) $1 + \tan^2 x = \frac{1}{\cos^2 x}$ を利用して、不定積分 $\int \tan^2 x \, dx$ を求めよ.
 - (2) 2つの曲線 $y=\frac{3}{2}\tan x \left(0 \le x < \frac{\pi}{2}\right)$, $y=\cos x \left(0 \le x \le \frac{\pi}{2}\right)$ とx軸で囲まれた図形を,x軸のまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ.
- 3 0 でない複素数 z の極形式を $r(\cos\theta + i\sin\theta)$ とするとき、次の複素数を極形式で表せ、ただし、 $0 \le \theta < 2\pi$ とし、また z と共役な複素数を \overline{z} で表す.
 - $(1) -\overline{z}$
 - (2) $\frac{1}{z^2}$
 - (3) z |z|

- 4 1から5の数字が書かれたカードが1枚ずつある. これらから4枚を選び、横1列に並べる. 並べられたカードに書かれた数字を左から順にa, b, c, d とおく. このとき、次の間に答えよ.
 - (1) カードの並べ方の総数を求めよ.
 - (2) 次のルールのもとで、 $3 \ge 4$ のカードを捨てる場合は何通りあるかを求めよ.
 - a < b < c < dならば、 $b \ge c$ のカードを捨てる.
 - a < b < d < cならば、 $b \ge d$ のカードを捨てる.
 - b < a < c < dならば、 $a \ge c$ のカードを捨てる.
 - b < a < d < cならば、 $a \ge d$ のカードを捨てる.
 - その他は何も捨てない.
 - (3) (2) のルールのもとで、何も捨てない確率を求めよ.
- **5** 2つの曲線 $y=\frac{3}{2}\tan x\left(0 \le x < \frac{\pi}{2}\right)$, $y=\cos x\left(0 \le x \le \frac{\pi}{2}\right)$ と x 軸で囲まれた図形を, x 軸のまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ.
- **6** 実数 a, b は $a \ge 0$, $b \ge 0$, $a^2 + b^2 = 1$ を満たしているとする. このとき, 次の問に答えよ.
 - (1) 定積分

$$S = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |a\sin x - b\cos x| dx$$

 $e^{a, b}$ を用いて表せ.

(2) S の最大値, 最小値とそのときのa, b の値をそれぞれ求めよ.

7 複素数平面上の点 z に対して

$$w = \frac{3(1-i)z - 2i}{z + 3(1-i)}$$

で表される点wをとる.このとき、次の間に答えよ.

- (1) w = zとなるような点 z は 2 つある. これらを求めよ.
- (2) (1) で求めた異なる 2 点を α , β とする. ただし, $0 \le \arg \alpha < \arg \beta < 2\pi$ とする. z が α , β と異なる点であるとき,

$$\frac{w-\beta}{w-\alpha} = k \cdot \frac{z-\beta}{z-\alpha}$$

となるような定数kの値を求めよ.

(3) 複素数 z_n を

$$z_1 = 0$$
, $z_{n+1} = \frac{3(1-i)z_n - 2i}{z_n + 3(1-i)}$ $(n = 1, 2, 3, \dots)$

で定める。また、 z_n の実部と虚部をそれぞれ x_n 、 y_n とする。このとき、数列 $\{x_n\}$ 、 $\{y_n\}$ の一般項をそれぞれ求めよ。さらに、数列 $\{x_n\}$ 、 $\{y_n\}$ の極限を求めよ。

- 8 空間に 3 点 A(1, 2, 6), B(7, 0, 9), C(s, t, 0) がある. ただし, s, t は実数とする. このとき, 次の間に答えよ.

 - $|\overrightarrow{AB}| = |\overrightarrow{AC}|$ となるとき, $s \ge t$ の関係式を求めよ.
 - (3) \triangle ABC が \angle BAC = 90° の直角二等辺三角形となるとき,s と t の値を求めよ.
- 9 Oを原点とする座標平面上に 2点 A(4,0), P(t,0) をとる。ただし,0 < t < 4 とする。さらに放物線 $C: y = -x^2 + 7x$ 上に 2点 B(4,12), $Q(t,-t^2+7t)$ をとる。 $\triangle APB$ の面積を f(t) とし,放物線 C,線分 PQ,線分 OP によって囲まれた図形の面積を g(t) とする。このとき,次の間に答えよ。
 - (1) f(t) を t を用いて表せ.
 - (2) q(t) を t を用いて表せ.
 - (3) h(t) = f(t) + g(t) とおく、0 < t < 4 における h(t) の最小値とそのときの t の値を求めよ.

解答例

1 (1) 与えられた漸化式から

$$a_{n+2}-a_{n+1}=-p(a_{n+1}-a_n)$$
 ゆえに $b_{n+1}=-pb_n$ $\{b_n\}$ は、初項 $b_1=a_2-a_1=2-1=1$ 、公比 $-p$ の等比数列であるから $b_n=1\cdot (-p)^{n-1}=(-p)^{n-1}$

(2) (1) の結果から $a_{n+1} - a_n = (-p)^{n-1}$

$$n \ge 2$$
 のとき $a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (-p)^{k-1} = 1 + \frac{1 - (-p)^{n-1}}{1+p}$

上式は,n=1のときも成立するから $a_n=1+rac{1-(-p)^{n-1}}{1+p}$

(3)
$$0 より $-1 < -p < 0$ であるから $\lim_{n \to \infty} (-p)^{n-1} = 0$ よって $\lim_{n \to \infty} a_n = 1 + \frac{1}{1+p} = \frac{2+p}{1+p}$$$

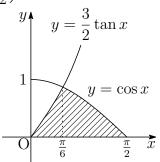
別解 与えられた漸化式から

$$a_{n+2}+pa_{n+1}=a_{n+1}+pa_n$$
 ゆえに $a_{n+1}+pa_n=a_2+pa_1=2+p$
上式と $a_{n+1}-a_n=(-p)^{n-1}$ の差をとると
$$(1+p)a_n=2+p-(-p)^{n-1}$$
 よって $a_n=\frac{2+p-(-p)^{n-1}}{1+p}$

2 (1)
$$1 + \tan^2 x = \frac{1}{\cos^2 x}$$
 より、 $\tan^2 x = \frac{1}{\cos^2 x} - 1$ であるから
$$\int \tan^2 x \, dx = \int \left(\frac{1}{\cos^2 x} - 1\right) dx$$
$$= \tan x - x + C \quad (C は積分定数)$$

(2)
$$y = \frac{3}{2} \tan x \left(0 \le x < \frac{\pi}{2} \right)$$
 と $y = \cos x \left(0 \le x \le \frac{\pi}{2} \right)$ の共有点の x 座標は

$$\frac{3}{2}\tan x = \cos x$$
$$3\sin x = 2\cos^2 x$$
$$2\sin^2 x + 3\sin x - 2 = 0$$
$$(\sin x + 2)(2\sin x - 1) = 0$$



$$0 \le x < \frac{\pi}{2} \ \sharp \ \emptyset \qquad x = \frac{\pi}{6}$$

したがって、求める立体の体積を V とすると

$$V = \pi \int_0^{\frac{\pi}{6}} \left(\frac{3}{2} \tan x\right)^2 dx + \pi \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^2 x \, dx$$

$$= \frac{9}{4} \pi \int_0^{\frac{\pi}{6}} \tan^2 x \, dx + \frac{\pi}{2} \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} (1 + \cos 2x) dx$$

$$= \frac{9}{4} \pi \left[\tan x - x \right]_0^{\frac{\pi}{6}} + \frac{\pi}{2} \left[x + \frac{1}{2} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} = \frac{5\sqrt{3}}{8} \pi - \frac{5}{24} \pi^2$$

(1)
$$-\overline{z} = (\cos \pi + i \sin \pi) \cdot r \{\cos(-\theta) + i \sin(-\theta)\}$$

= $r \{\cos(\pi - \theta) + i \sin(\pi - \theta)\}$

(2)
$$\frac{1}{z^2} = \{r(\cos\theta + i\sin\theta)\}^{-2}$$
$$= \frac{1}{r^2} \{\cos(-2\theta) + i\sin(-2\theta)\}$$

$$(3) |z - |z| = r(\cos\theta + i\sin\theta) - r = r(\cos\theta - 1 + i\sin\theta)$$

$$= r\left(-2\sin^2\frac{\theta}{2} + 2i\sin\frac{\theta}{2}\cos\frac{\theta}{2}\right) = 2r\sin\frac{\theta}{2}\left(-\sin\frac{\theta}{2} + i\cos\frac{\theta}{2}\right)$$

$$= 2r\sin\frac{\theta}{2}\left\{\cos\left(\frac{\theta}{2} + \frac{\pi}{2}\right) + i\sin\left(\frac{\theta}{2} + \frac{\pi}{2}\right)\right\}$$

$$= 2\tau\cos\theta - 1 + i\sin\theta$$

$$= 2r\sin\frac{\theta}{2}\left(-\sin\frac{\theta}{2} + i\cos\frac{\theta}{2}\right)$$

$$= 2r\sin\frac{\theta}{2}\left(-\sin\frac{\theta}{2} + i\cos\frac{\theta}{2}\right)$$

$$= 2r\sin\theta - i\sin\theta$$

$$= 2r\sin\theta$$

 $oxed{4}$ (1) 異なる 5 枚のカードから 4 枚を 1 列に並べる順列の総数であるから

$$_5P_4 = 5\cdot 4\cdot 3\cdot 2 = 120$$
 (通り)

(2) i) a < b < c < d において, (b, c) = (3, 4) のとき, 次の2通り.

$$(a, b, c, d) = (1, 3, 4, 5), (2, 3, 4, 5)$$

ii) a < b < d < c において、(b, d) = (3, 4) のとき、次の2通り.

$$(a, b, d, c) = (1, 3, 4, 5), (2, 3, 4, 5)$$

iii) b < a < c < d において、(a, c) = (3, 4) のとき、次の2通り.

$$(b, a, c, d) = (1, 3, 4, 5), (2, 3, 4, 5)$$

iv) b < a < d < c において, (a, d) = (3, 4) のとき, 次の2通り.

$$(b, a, d, c) = (1, 3, 4, 5), (2, 3, 4, 5)$$

- i)~iv) の総数であるから 2+2+2+2=8 (通り)
- (3) 捨てられるカードは、 3×4 、 2×3 、 2×4 の 3 つの場合がある。 2×3 の場合は、(2) で求めた 3×4 の場合と同様に 8 通り。また、 2×4 の場合は、次の i)~iv) の 4 通り。
 - i) $a < b < c < d \ \mathcal{E}$ おいて, $(b, c) = (2, 4) \ \mathcal{O}$ とき

$$(a, b, c, d) = (1, 2, 4, 5)$$

$$(a, b, d, c) = (1, 2, 4, 5)$$

iii) b < a < c < d において, (a, c) = (2, 4) のとき

$$(b, a, c, d) = (1, 2, 4, 5)$$

iv) $b < a < d < c \ \mathcal{E}$ おいて, $(a, d) = (3, 4) \ \mathcal{O}$ とき

$$(b, a, d, c) = (1, 2, 4, 5)$$

したがって、カードを捨てる確率は $\frac{8+8+4}{120} = \frac{1}{6}$

求める確率は、この余事象の確率であるから $1-\frac{1}{6}=\frac{\mathbf{5}}{\mathbf{6}}$

5 2 (2) と同じ

6 (1) a, bの条件から

$$a = \cos \theta, \quad b = \sin \theta \quad \left(0 \le \theta \le \frac{\pi}{2}\right)$$

とおくと

(2) ①から

$$S = 2 - \sqrt{2}\sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right)$$

よって
$$\theta=0,\,rac{\pi}{2}$$
 すなわち $(m{a},\,m{b})=(1,0),(0,1)$ のとき,最大値 1 $\theta=rac{\pi}{4}$ すなわち $m{a}=m{b}=rac{1}{\sqrt{2}}$ のとき,最小値 $m{2}-\sqrt{2}$

$$7 \quad (1) \ w = z \, \mathcal{O} \, \mathcal{E} \, \stackrel{?}{=} \, \frac{3(1-i)z-2i}{z+3(1-i)} \quad \underline{\mathfrak{B}} \underline{\mathfrak{P}} \, \overline{\mathfrak{I}} \, \mathcal{E} \, z^2 = -2i$$

$$-2i = 2 \left(\cos\frac{3}{2}\pi + i\sin\frac{3}{2}\pi\right) \, \mathcal{C} \, \overline{\mathfrak{D}} \, \widetilde{\mathfrak{D}} \,$$

8 (1) A(1, 2, 6), B(7, 0, 9), C(s, t, 0) より
$$\overrightarrow{AB} = (6, -2, 3), \quad \overrightarrow{AC} = (s - 1, t - 2, -6)$$
 したがって $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = 6(s - 1) - 2(t - 2) + 3 \cdot (-6)$

(2)
$$|\overrightarrow{AB}| = |\overrightarrow{AC}|$$
 より、 $|\overrightarrow{AB}|^2 = |\overrightarrow{AC}|^2$ であるから
$$6^2 + (-2)^2 + 3^2 = (s-1)^2 + (t-2)^2 + (-6)^2$$
したがって $(s-1)^2 + (t-2)^2 = 13$

(3)
$$\overrightarrow{AB} \perp \overrightarrow{AC}$$
 であるから、 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = 0$ を (1) の結果に代入すると $6s - 2t - 20 = 0$ ゆえに $t = 3s - 10$ …① さらに、① を (2) の結果に代入すると $(s-1)^2 + (3s-10-2)^2 = 13$ 整理すると $5s^2 - 37s + 66 = 0$ ゆえに $(s-3)(5s-22) = 0$ これを解いて $s = 3, \frac{22}{5}$ よって、① から $(s, t) = (3, -1), \left(\frac{22}{5}, \frac{16}{5}\right)$

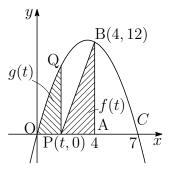
- **9** (1) 右の図から $f(t) = \frac{1}{2} \text{PA} \cdot \text{AB} = \frac{1}{2} (4-t) \cdot 12 = -6t + 24$
 - (2) 右の図から

$$g(t) = \int_{0}^{t} (-x^{2} + 7x) dx$$

$$= \left[-\frac{1}{3}x^{3} + \frac{7}{2}x^{2} \right]_{0}^{t}$$

$$= -\frac{1}{3}t^{3} + \frac{7}{2}t^{2}$$

$$P(t, 0) 4$$



(3) (1), (2) の結果から $h(t) = f(t) + g(t) = -\frac{1}{3}t^3 + \frac{7}{2}t^2 - 6t + 24$ これを微分すると $h'(t) = -t^2 + 7t - 6 = -(t-1)(t-6)$ 0 < t < 4であるから、その増減表は

| \overline{t} | (0) | | 1 | | (4) |
|----------------|-----|---|----|---|-----|
| h'(t) | | _ | 0 | + | |
| h(t) | | × | 極小 | 7 | |

よって,最小値は
$$h(1)=rac{127}{6}$$